



利用実績報告  
(令和7年10月～  
令和8年2月速報)

令和8年2月

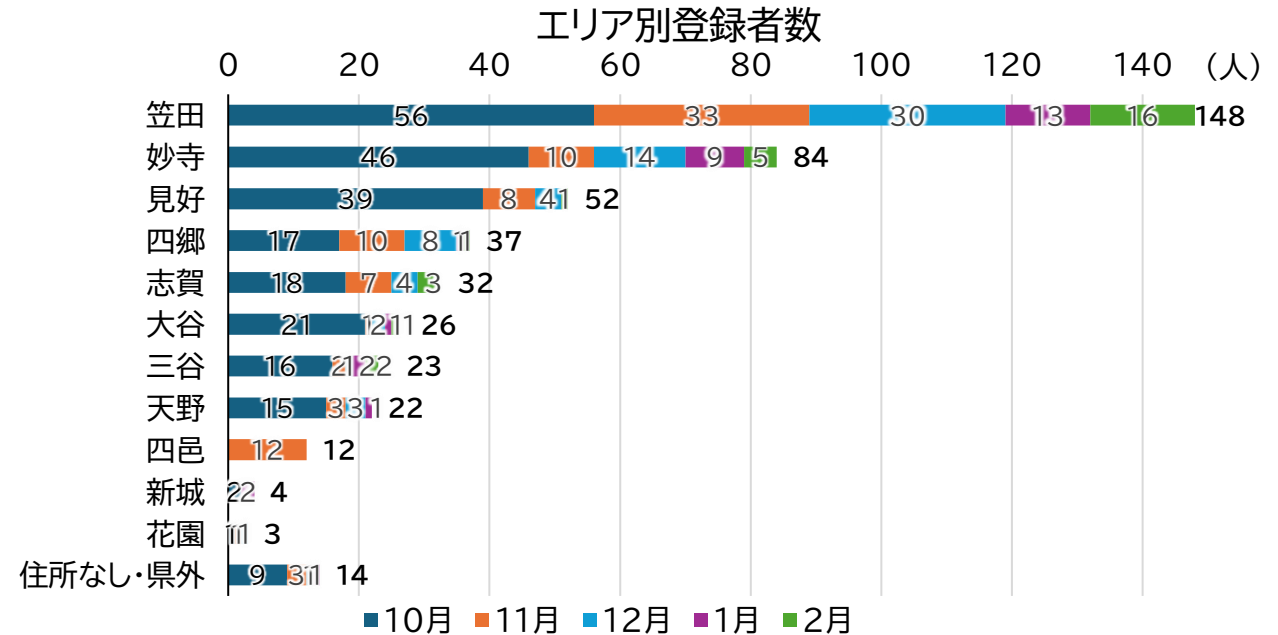
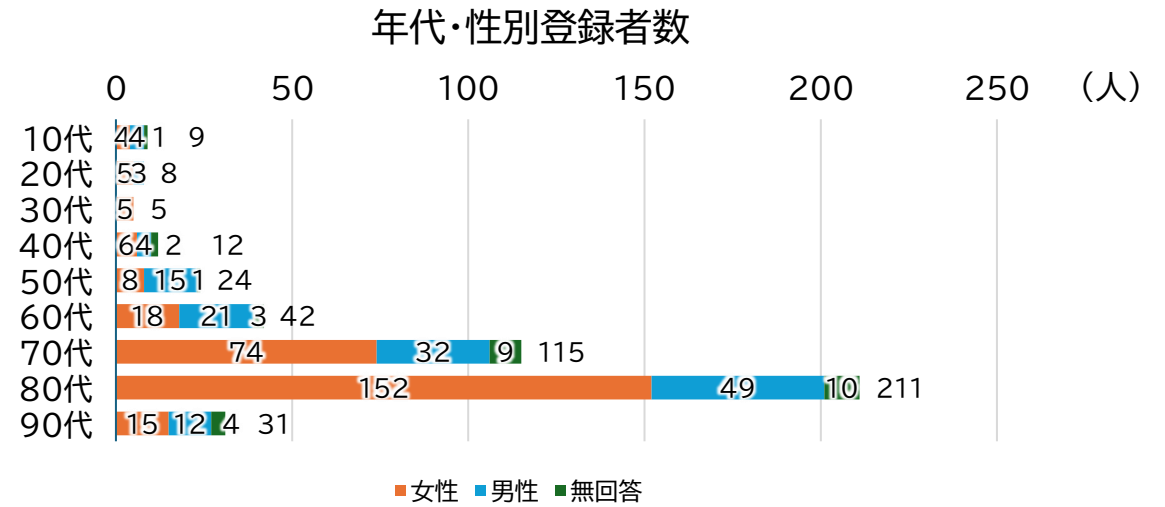
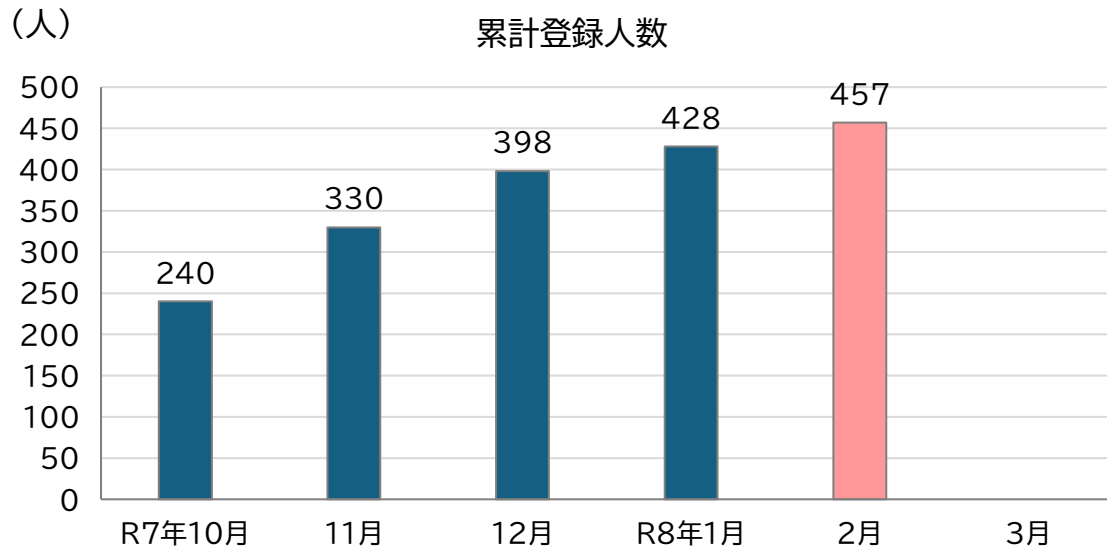
# かつらいど利用登録者数(令和7年10月1日～令和8年2月24日)

令和8年2月24日時点で累計利用登録人数は457人で、順調に増加しています。

年代別では80代が211名で最も多く、そのうち女性が152人となり、全登録者数の3割以上を占めています。

10代の登録者数は9人となり、いずれも河南エリアとなります。

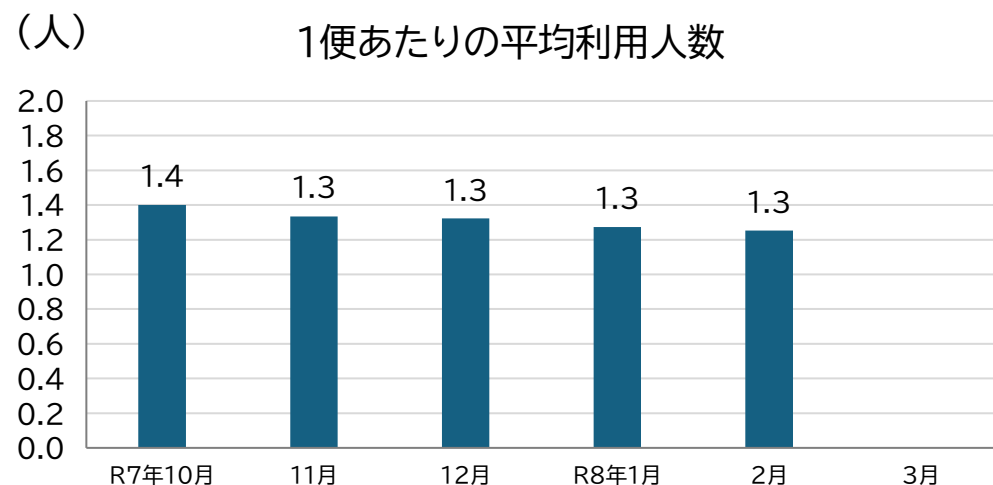
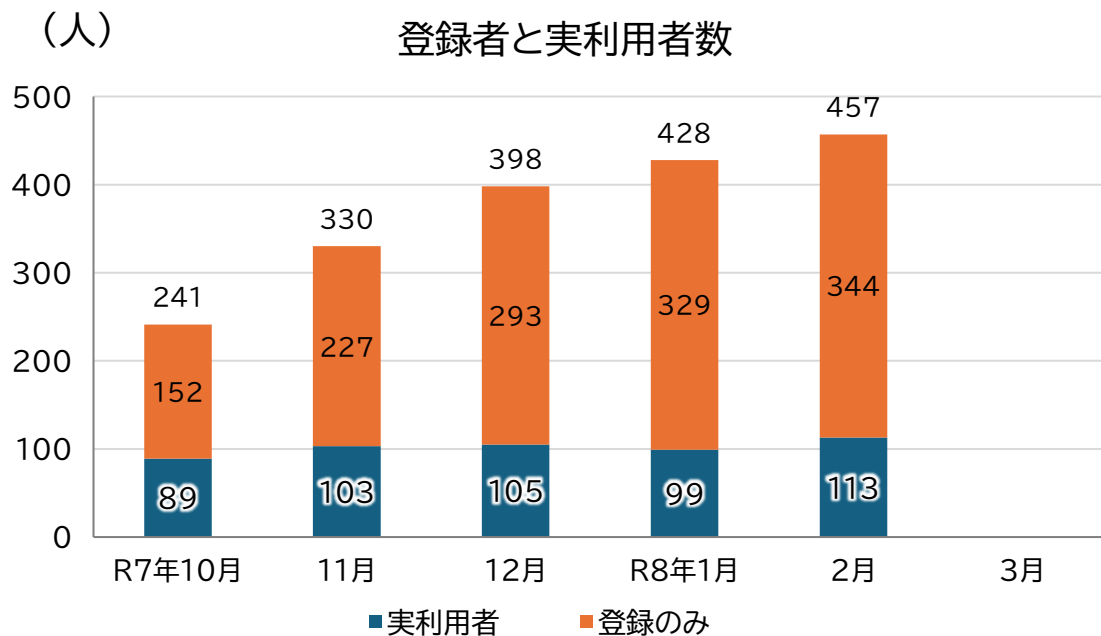
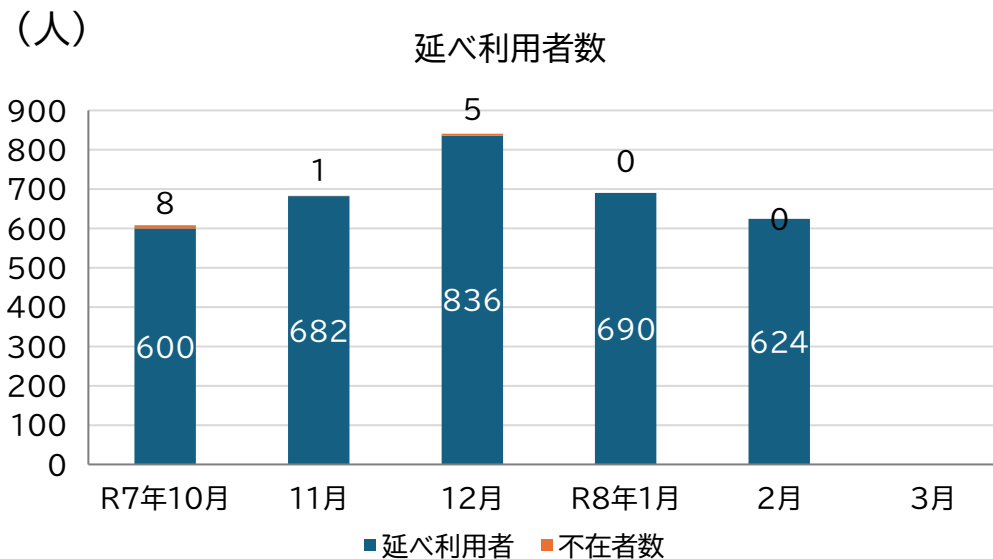
エリア別では「笠田エリア」の登録者数が148名で最も多く、ついで「妙寺エリア」が84名となります。



# かつらいど利用者数(令和7年10月1日～令和8年2月24日)

2月の実利用者数は113人で、上昇傾向にあります(利用登録者数457人 実利用者数の割合24.7%)。

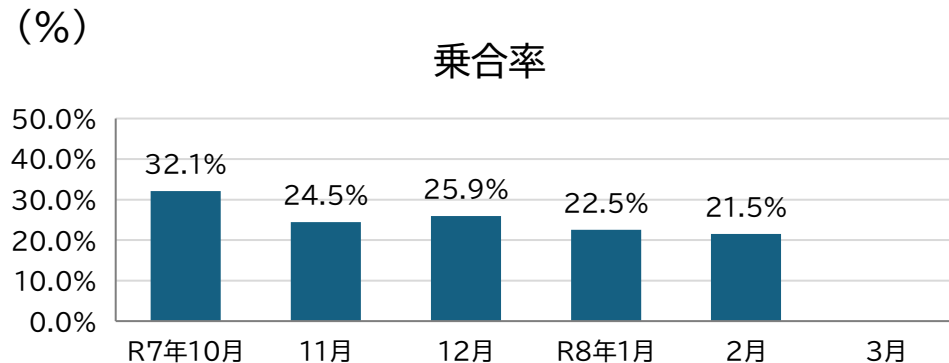
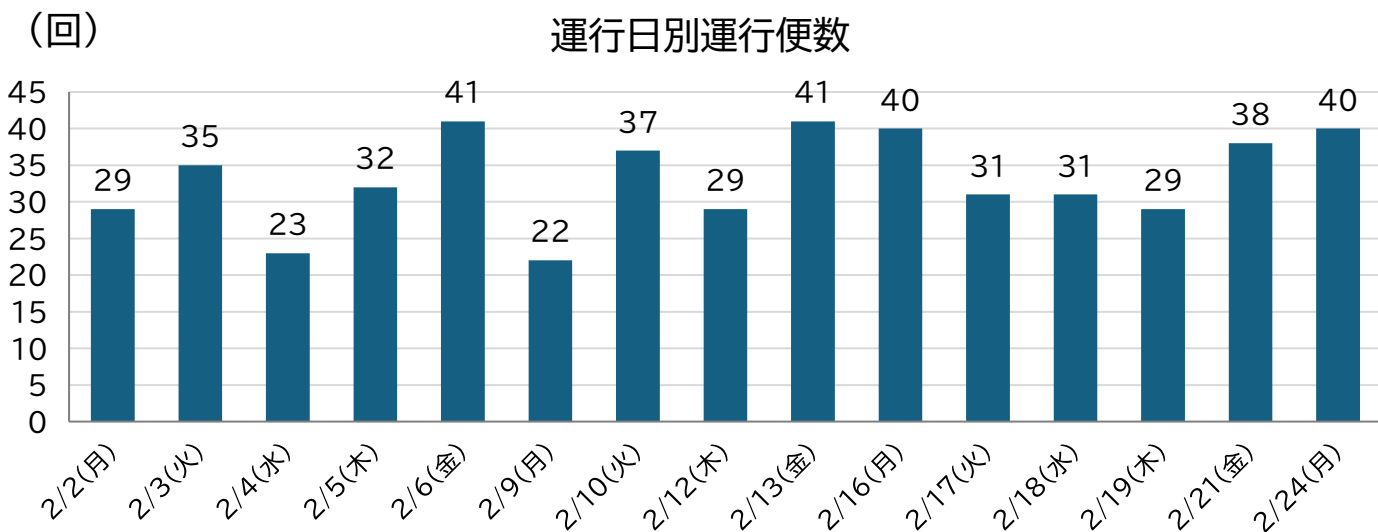
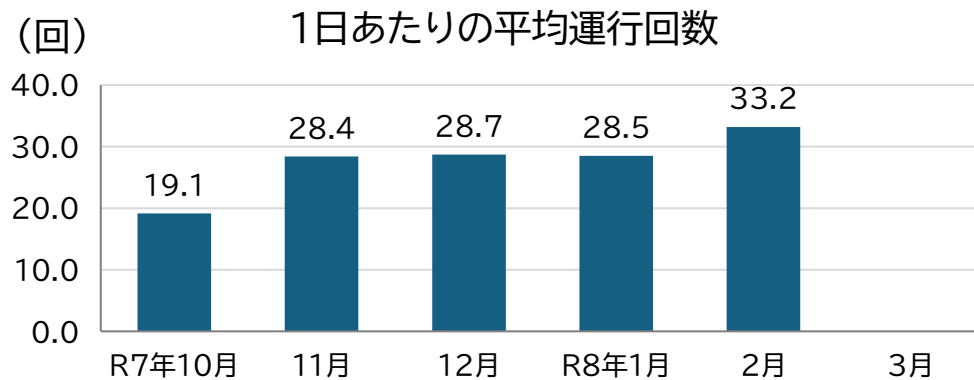
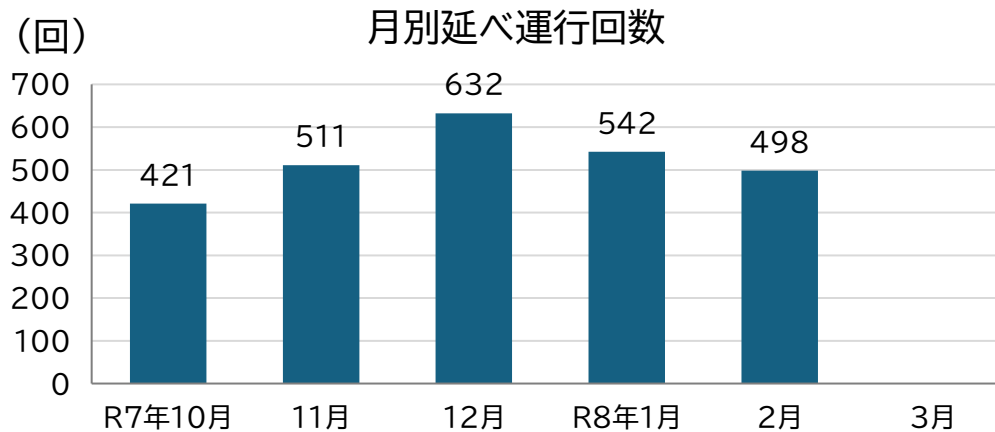
1か月の延べ利用者数は624人(15営業日)で、1日あたりの平均利用者数は41.6人と増加しています。また1便あたりの平均利用人数は約1.3人で推移しています。



# かつらいど運行回数(令和7年10月1日～令和8年2月24日)

2月(2月24日時点)の運行回数は498回、1日あたりの平均運行回数は33.2回(15営業日)と安定して利用されています。

乗合率(1回の運行に2名以上が乗車している割合)は、21.5%と開始からやや下降しています。

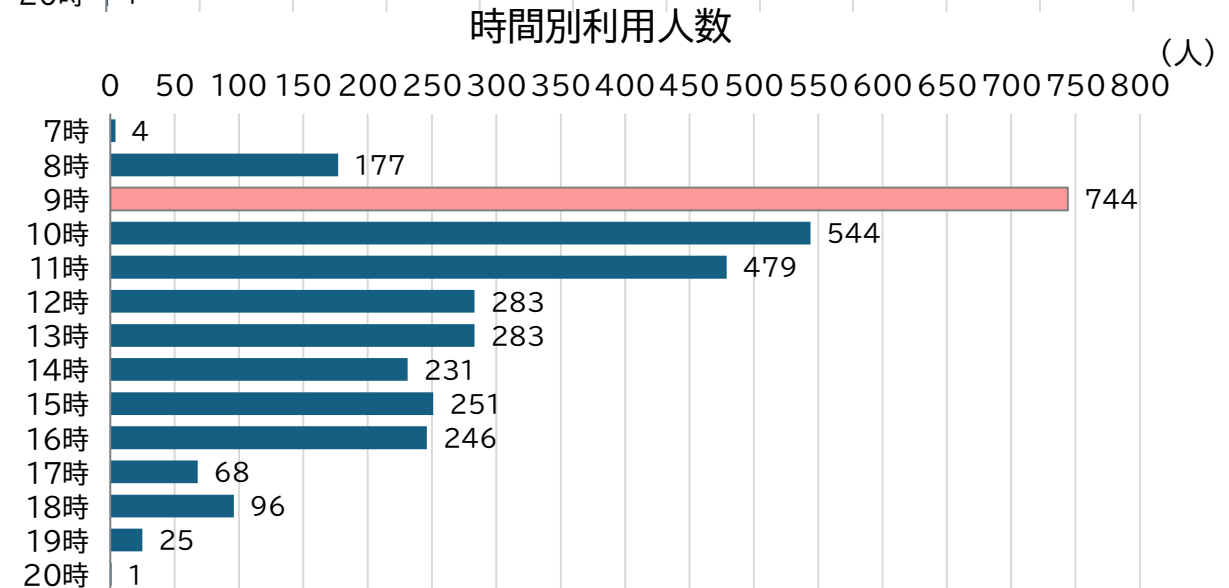
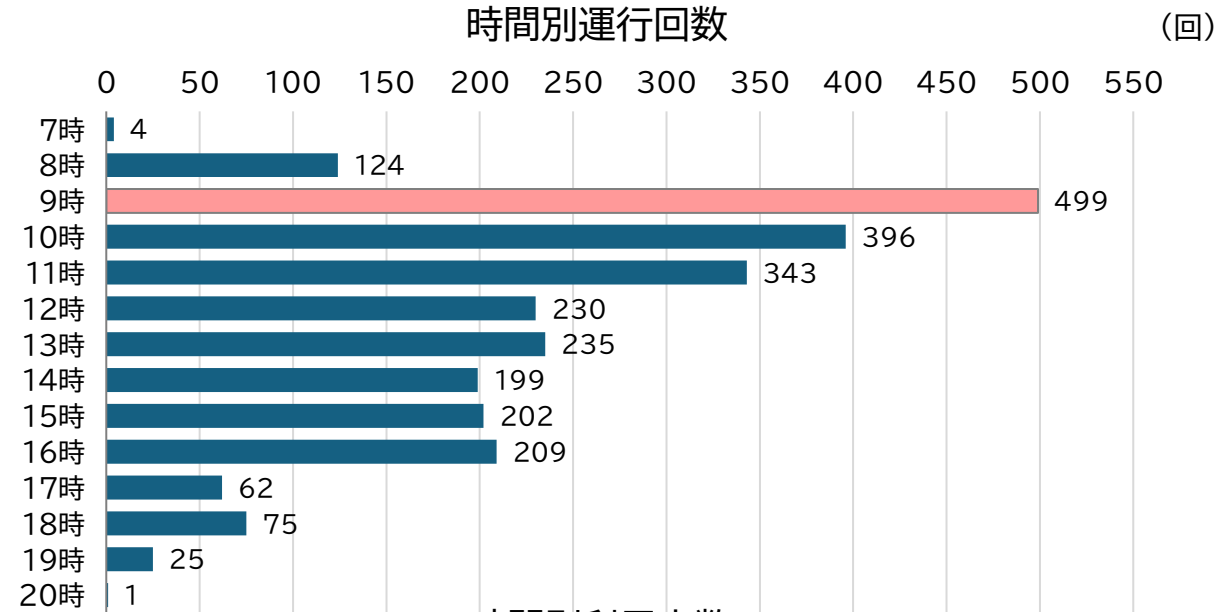
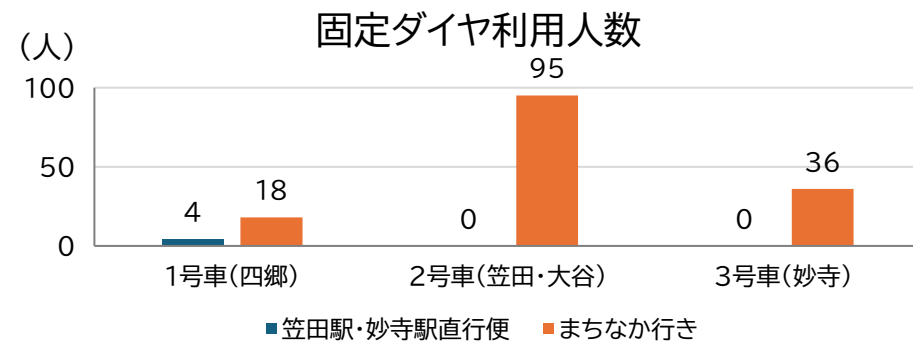
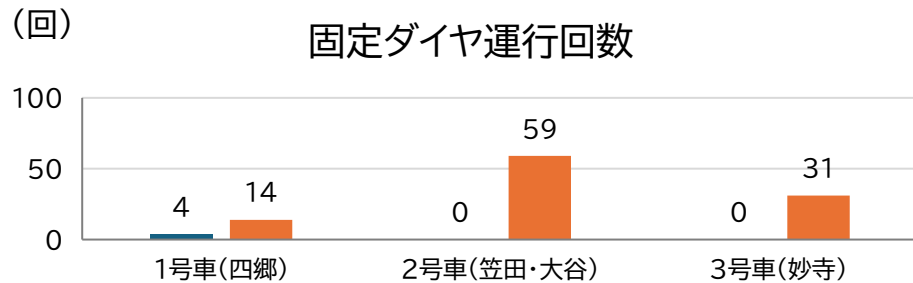


# かつらいど時間別の運行回数・利用者数(令和7年10月1日～令和8年2月24日)

固定ダイヤの運行回数はほぼ5ヵ月間で108回、利用者数は153人とどまっています。

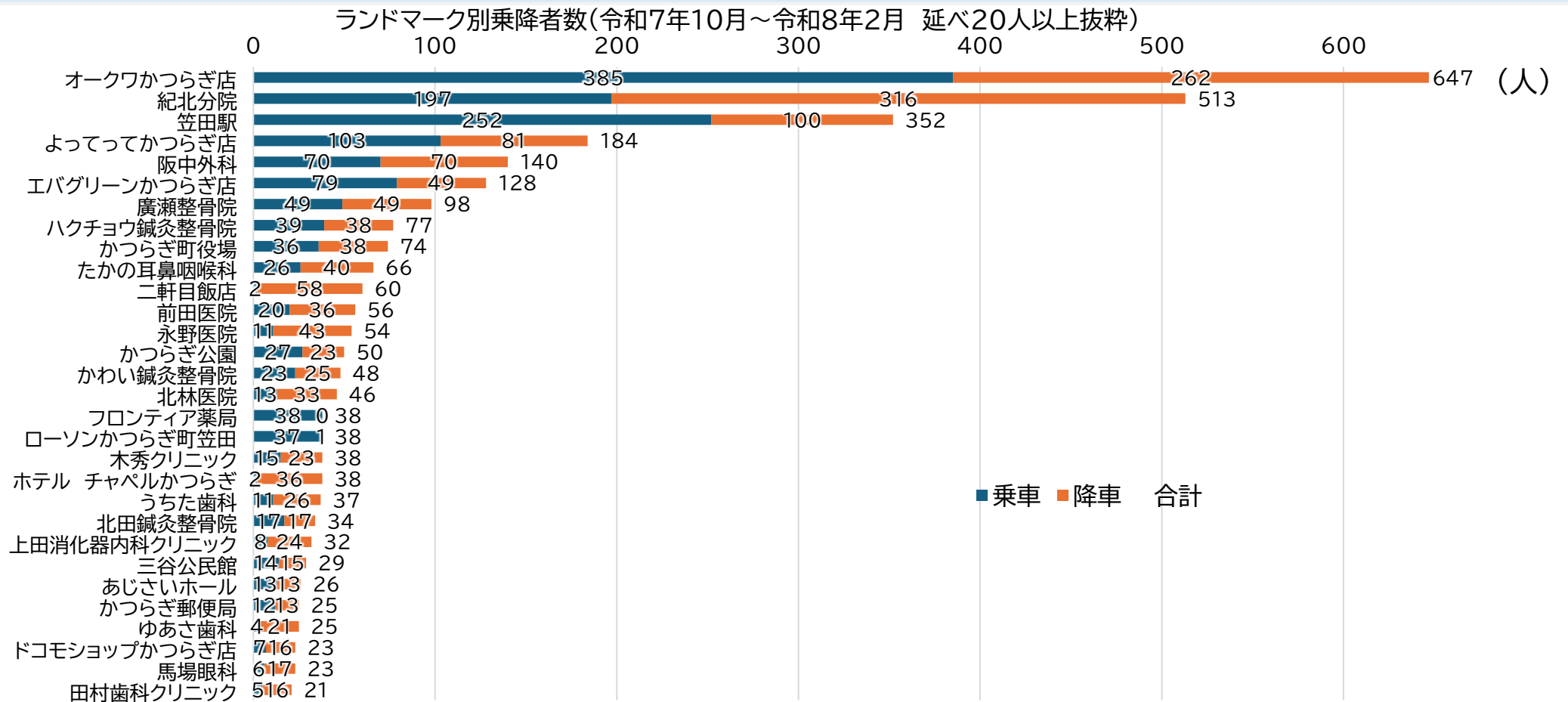
朝7時台の笠田駅・妙寺駅直行便においては四郷エリアから笠田駅直行便が4回のみで、利用が少ない状況です。

時間帯別では、9時台の運行回数・利用者数がともに最多で、上位3位は9時台から11時台の午前中の利用が多くなっています。



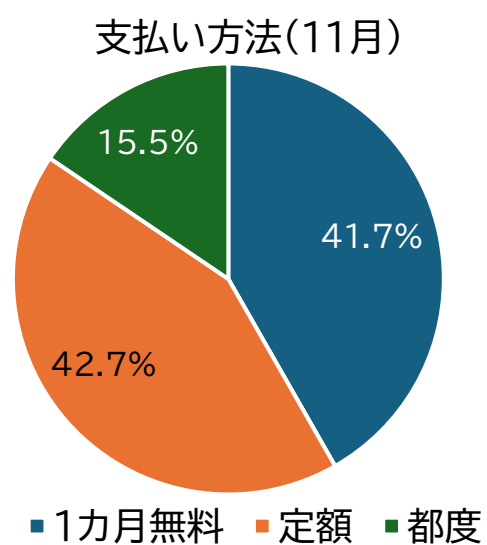
# かつらいで乗降場所(令和7年10月1日～令和8年2月24日)

最も利用が多かった乗降場所はオークワかつらぎ店でした。  
 次いで、紀北分院、阪中外科等の通院利用が多くなっています。  
 駅や停留所では、笠田駅の利用が最も多く、他の駅やバス停の利用は20人以下となっている状況です。  
 かつらぎ公園や三谷公民館への移動手段として、「かつらいで」が利用されています。

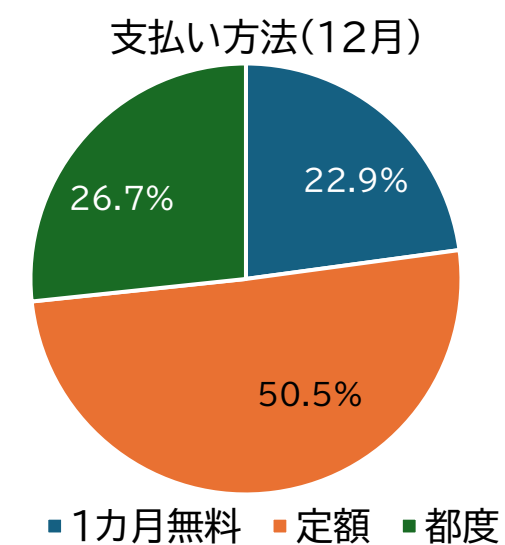


# かつらいど支払い・予約方法(令和7年10月1日～令和8年2月24日)

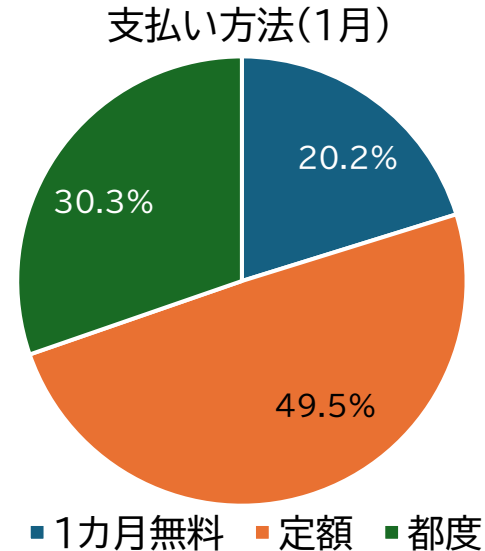
運賃の支払い方法として、定額乗り放題にした利用者が57名で実利用者数の半数以上となっています。  
 1月までに無料お試しを利用した方は176人おり、そのうち57人(32.4%)が定額乗り放題を利用し、97人(55.1%)が継続して利用(都度払い・定額乗り放題利用者)しております。



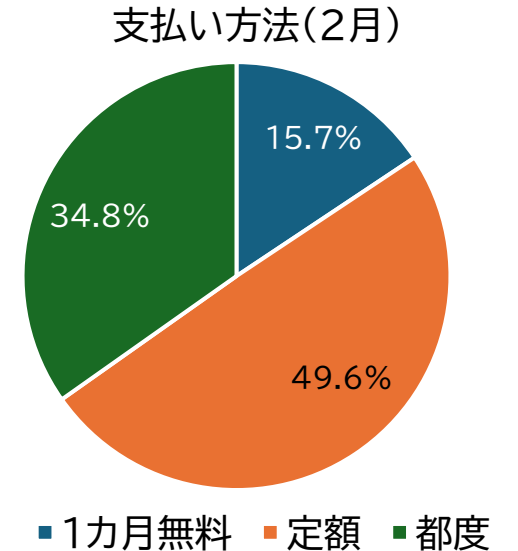
支払い方法	人数
定額	44
1カ月無料	43
都度払い	16
合計	103



支払い方法	人数
定額	53
1カ月無料	24
都度払い	28
合計	105



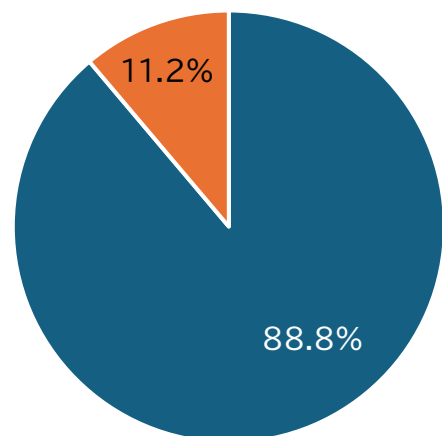
支払い方法	人数
定額	49
1カ月無料	20
都度払い	30
合計	99



支払い方法	人数
定額	57
1カ月無料	18
都度払い	40
合計	115

予約方法は電話予約が8割以上を占めており、スマホ予約の割合が伸び悩んでいます。10代の利用者のほぼ100%がスマホで予約をしているため、スマホ予約が13.9%となっています。ただ、80代の利用者の中にもほぼ100%スマホで予約されている方がいます。

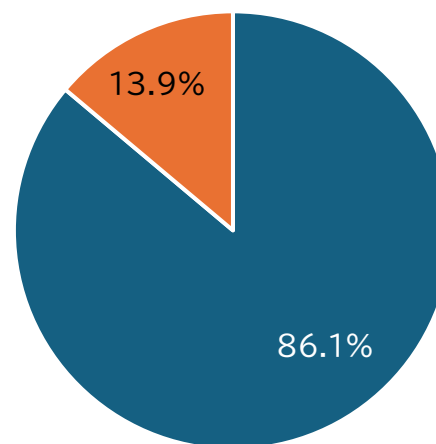
予約方法(令和8年2月)



■ 電話 ■ スマホ

予約方法	予約件数
電話予約	533
スマホ予約	67
合計	600

予約方法(10月～令和8年2月)



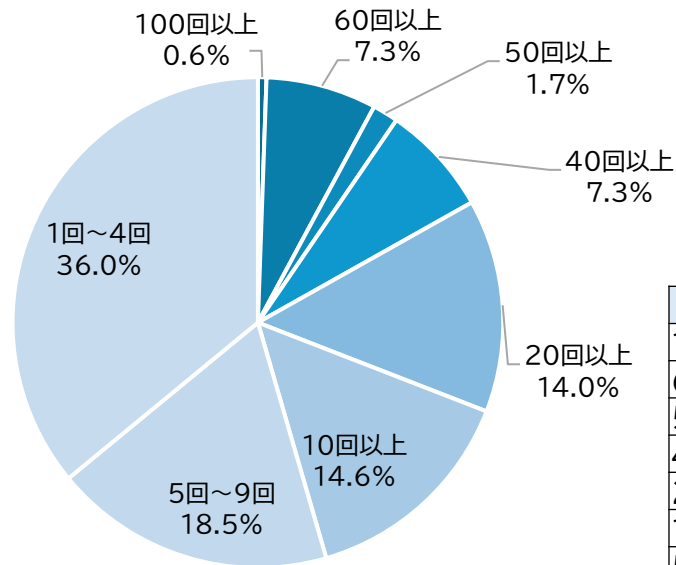
■ 電話 ■ スマホ

予約方法	予約件数
電話予約	2799
スマホ予約	451
合計	3250

# かつらいど個人別利用回数(令和7年10月1日～令和8年2月24日)

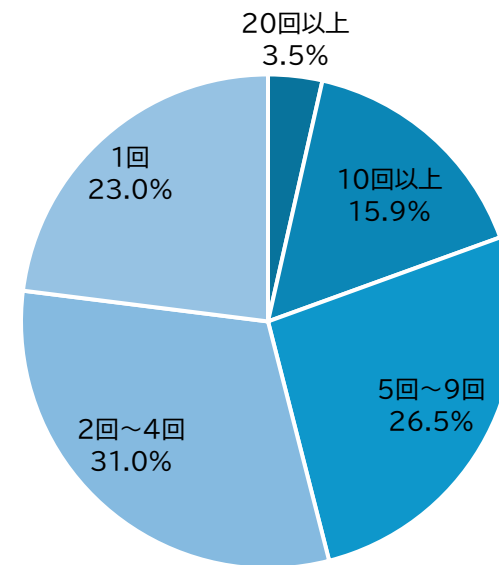
個人別の利用回数は、5ヵ月間で100回以上利用した方が1名おり、50回以上(1ヵ月10回以上)が16名います。1ヵ月間(2月)の個人別の利用回数は半数程度が5回以上利用しています。  
1か月に20回以上利用している方は4人おり、全て定額乗り放題を選択されています。

### 個人別利用回数(令和7年10月～令和8年2月)



利用回数	人数
100回以上	1
60回以上	13
50回以上	3
40回以上	13
20回以上	25
10回以上	26
5回～9回	33
1回～4回	64

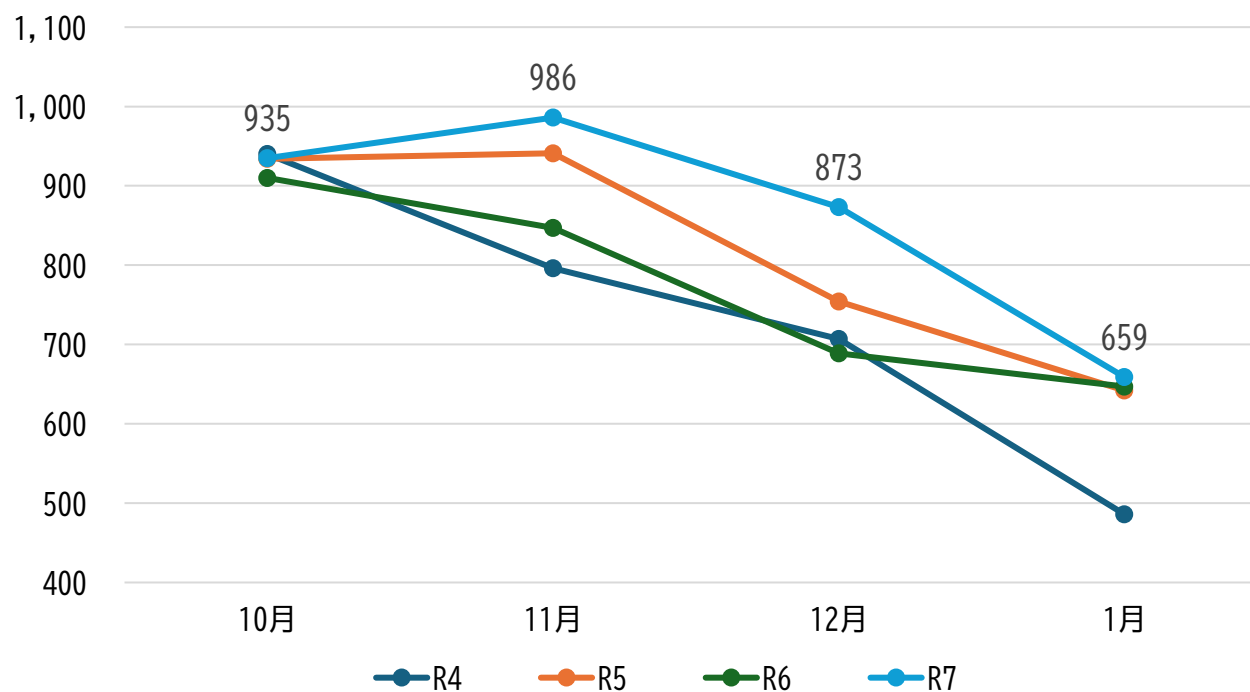
### 個人別利用回数(2月)



利用回数	人数
20回以上	4
10回以上	18
5回～9回	30
2回～4回	35
1回	26

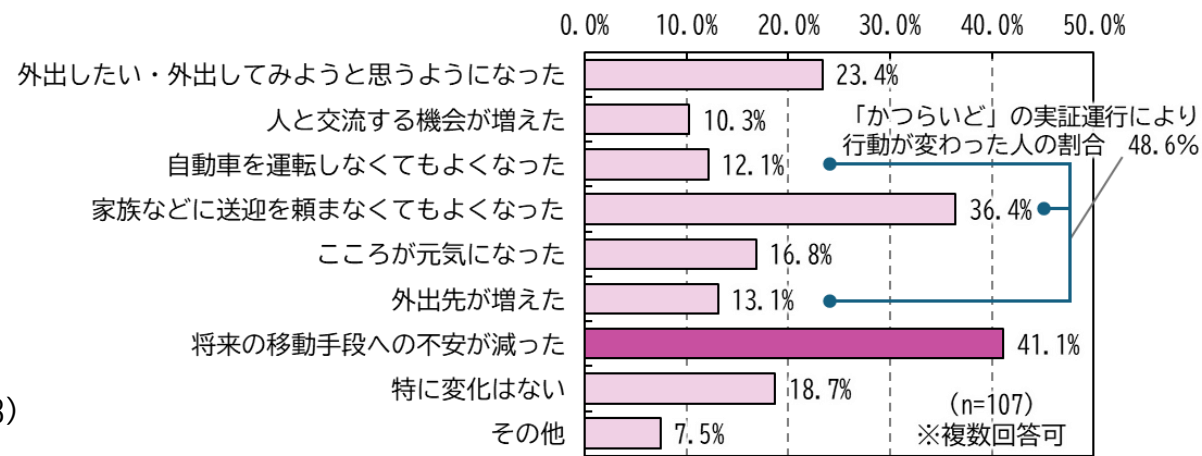
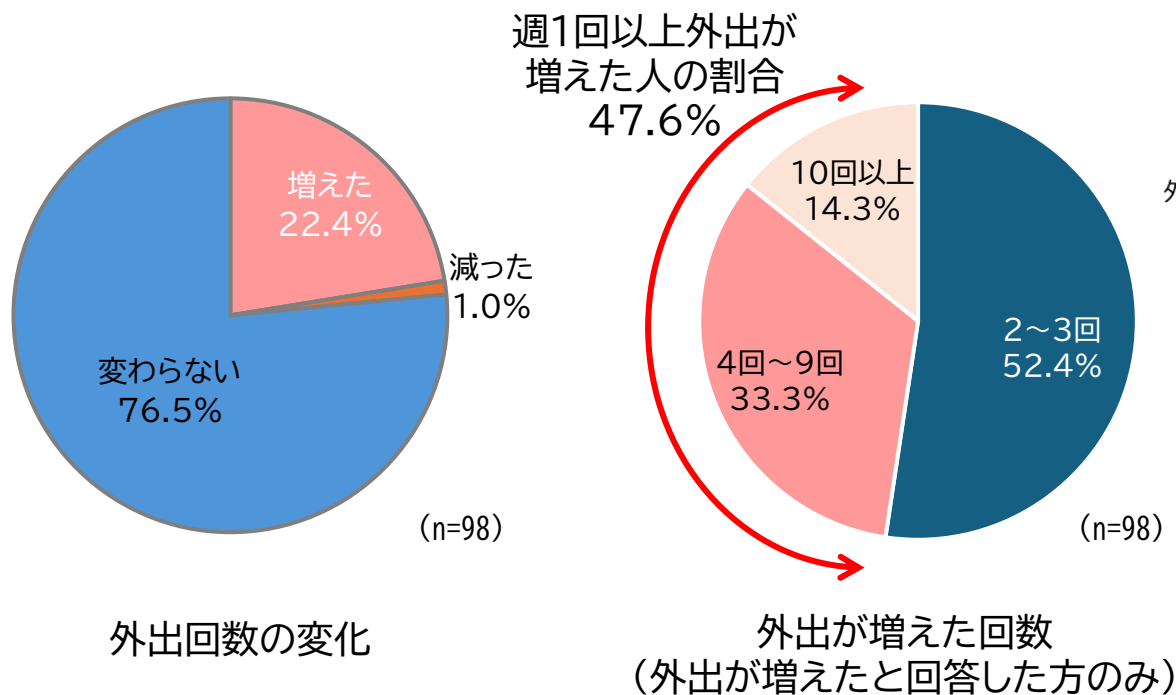
今年度令和7年10月よりデマンド乗合交通「かつらいど」の運行を開始しました。懸念されたコミュニティバスの利用者数の減少は見られず、順調に推移しています。直近3年間と比較して、10月～1月までの全ての月で実績をほぼ上回っており、コミュニティバスと乗合交通「かつらいど」が互いの役割を補完し合いながら、利用されていると考えられます。

	R4	R5	R6	R7
10月	940	934	910	935
11月	796	941	847	986
12月	707	754	689	873
1月	486	642	647	659



令和7年12月に実施したアンケートで「かつらいど」の実証運行により、「外出回数が増えた」と回答した人は22.4%となり、そのうち半数が「週1回以上(月4回以上)」外出が増えたと回答しています。

気持ちや行動の変化に関する質問では、「将来の移動手段への不安が減った」との回答が41.1%と最も多くなり、将来の移動に対しての不安を軽減していると言えます。



かつらいどの運行による気持ちや行動の変化